

◇地元産業界等と連携した実践的 PBL を含む科目

『北海道学特別講義(道南いさりび鉄道・地域活性化プロジェクト)』(教養科目・北海道学)

担当者：菅原 浩信(経営学部教授)

1. 連携先

北海道

2. 受講対象学部・学科・年次

1部	経済学部	経済学科	1年
		地域経済学科	1年
	経営学部	経営学科	1年
		経営情報学科	1年
法学部		法律学科	1年
		政治学科	1年
人文学部		日本文化学科	1年
		英米文化学科	1年
工学部		社会環境工学科	1年
		建築学科	1年
		電子情報工学科	1年
		生命工学科	1年
2部	経済学部	経済学科	1年
		地域経済学科	1年
	経営学部	経営学科	1年
法学部		法律学科	1年
		政治学科	1年
人文学部		日本文化学科	1年
		英米文化学科	1年

3. 開講目的

北海道と学校法人北海学園の包括連携協定に基づく協働事業の1つとして、道南いさりび鉄道の利用促進と、その近隣地域の振興を目指し様々な提案を行う。

また、このことを通じて学生が以下の4点について理解することを目的とする。

①地域の課題を把握するとともに、その解決を図るための地域振興の重要性について

- ②地域振興の手法（地域資源の抽出とネットワーク化，地域資源の活用，地域情報（地域資源）の発信等）について
- ③観光振興において鉄道が果たす役割について
- ④地域交通のあり方について

なお，当事業においては，道南いさりび鉄道のほか，木古内町，知内町，福島町，松前町とも連携している。

※道南いさりび鉄道；2016年3月の北海道新幹線開業に伴い，並行在来線となった旧 JR 江差線（木古内～五稜郭間）の運行を引き継いだ第3セクター鉄道である

4. 具体的内容

- ①現地フィールドワークにより，地域資源の抽出とネットワーク化を行い，主として地域外の若年層（10代，20代）を誘引するための地域資源マップ（以下，マップ）の作成。
- ②マップを活用した近隣地域（知内町・福島町・松前町）の振興方策および観光客をターゲットとした道南いさりび鉄道の利用促進方策について提案を行う。
※最終マップ案の提出，プレゼンテーション・ディスカッション（現地）
- ③道南いさりび鉄道およびその沿線地域（主として木古内町）・近隣地域（知内町・福島町・松前町）の情報を広く発信することにより，道南いさりび鉄道の利用促進とその沿線地域・近隣地域の地域振興を図ることを目的として，2018年度に開設したインスタグラム（アカウント名:hgu.shr.isaribi.project）の更新を行う。
- ④すべてグループワーク（ワークショップ）形式により行う。